



早大
稲田
學

文會雜記

著者 出版

門

號

冊

15
463
1



門第5
群 463
卷 1-5



會雜記卷之一

備藩

湯元禎之祥識

月明善子誠校



一寛延二年己巳東役大和崎居修日但来回家高ノ作ノテ存石工門ハヨリ
書ノ精細見ル者ナリ改メヨリテ見セラレタリ春臺即喫寮ナトノ誤
ノル所ハニツケ紙ヲシテ戻ナシメリ但来見テ跡石工門ハ讀書タマウテ
精細ト思フマ存石門ハ見テシメル所イク處モ有テ又タニ付紙ノ白ラ
トイフ處ハ見セシメト居修物語ニ平子形ニケル也
子形信極備事矣
初見書在ニナリ



文會雜記卷之一

備藩

湯元禎之祥識

男明善子誠校



一寛延二年己巳東役ス松崎居修曰但来回家馬ヲ作リテ弥石工門ハヨ
 書ヲ精細ニ見ル者ナリ改メヨトテ見セラレタリ春臺即喫茶ナトノ誤
 リタル所外々ニツケ紙ヲシテ戻セタリ但未见テ弥石工門ハ讀書カマウニテ
 精細ナルト思フマ弥石工門カ見ラトシタル所イク処モ有トテ又処々ニ付紙ヲ自ラ
 シテ春臺ニ見セラレタルト居修物語ニテ平子彬云ケルト也
子彬俗稱三浦平次
 初峽侯吉保ニ任リ

一春臺曰經濟ノイサミニトモ早竟老子ナドハ礼樂ヲステタルニラス礼乐
ヲ治メラレス時ヲシリテ老子ノ一道ヲ説出セル也サハ吾モ諸経解ヲリ
テ後ニ老子ノ注ヲスヘシトテ兼々イワレシカ老子ノ注十八章出未シ
比物故セラレシト居修ノ物語ナリ

一神祖遺事ハ安澹泊ノ著述ナリ深ク秘スルニ澹泊ハ大博識ノ学者
ナリ然トモ文章ハ如何ヲホツカナシ遺事中ニ首実檢トエトヲ備首
級ト肩レタリ併トハ云ルヘキマ備トハ云レシトエト園田彦右門カ物語箇々
リシトサレハ南郭モ本書ハ見ラレサルマ序ハ鳩巢ノ肩レタルト南郭語ラ

レケル

一未翁政談ハ稿ヲ焚レタリ自筆ノ稿今意師ノ或高家ニ藏ム徳庵ハ歎セラレタル肩ナリ春臺モ見

ラレサル由ナリ居修ノ院ニ未翁モ春臺ヲハシカトシラレサルマ一生ヲホトク
・入ラヌマウニテ過ラレタリ也

一壽門松ノ文章ハ小宮山本工之進幕下カレテ李江晋ト作者名ヲセラレタ

リ李ノ字ノ中ニ本ノ字アリ江ノ字ノ中ニエノ字アリ晋ハ進ノ音ヲカリタリ
甚器用ノ人ナリ故アリテ春臺ハ交タレタルナリ

一伊藤快鳳カ唐音ヲ自分ニハ官音トイハ声ハ時々チカフヨシサレ氏俗陪

ハ随分ヨク覺タリト春臺ニハ官音ニテナキワケハ商人ハ通スルハ結
句官音ハリツハ過ヒユハアシトナリ

一土準夫一字ハ勘解由 号曲江祿子石脚書院番ナリ名節ノ極テ高キ
人ナリ春臺ノ病中ニモ日夜ツキソヒ居タマヒ棺槨ノセウ有テ小歎ナトハ
大フロシキノ如ク具足ヲ包マウニシタルヲ準夫婦人ニヌハセラレタルナリ

一東周列國全志ト云信裕ノ書ニ陝乾隆中ニ著セル骨杖ノ前川携未
三國志演義如キ骨ナリ百回ナリ春秋戰國ノ事略ヲツノアツメタルモ
ナリ

一春臺ノ骨ヲ校スルノキワメテ精密ナリ史漢左傳ノ類悉和読要領ノ
通りノ點ニ直サレタリ皆コフニテスリケシテアリ一畫ノ千カヒ片カ十ノ
一畫ニテモ改メサレタルト也サレハ會業ニテ読骨甚クハシクナリタルトナリ
后修裕ナリ

一后修カ共島大夫書トアル島助次郎ト云人ナリ詩ハ極テ器用ナル
人ナリ子式モ后修カ一生ノカニテモ島氏ニ追ヒ、キカタキト也家老ニ
イソカシク今ハ廢学セリトナリ

一水戸ノ大日本史ハ 神后ヲ后妃傳ニ下シ大友皇子ヲ帝紀ニ多クマ

フト南郭目錄ヲハ見ラレシト詔ラレケリ

一春臺徂来ニラテ豫侯ヲシカリタル論書ハイマタ未翁ノ方ニユク又内未翁物故セラレタルト也

一未翁其外モ林希逸カ老莊解ハアシト云リ金華独カヒソカニサマキテ必希逸カアシキニモ非シト云リ居修ニ予希逸カ解サノミアシカラシト云シ時石ノ如ク金華ノ吐ラ居修信シ居修モ云希逸カ解後論ヲノケテ文字ヲハヨク解シタリ希逸ニテ老莊ハ解スヘシト思ヘルト居修モ云リ一松崎子允ノ説琵琶湖景日本ノ景ナリサツタ嶺ヨリ海ヲ望ルケシキハ

唐景ナルヘシトナリ

一南郭ノ云肩刀アマリセワマキタルハアシカルヘシアレマニ精出サセテヒトリ進マウニシテヨカルヘシト也居修云ルハ文章キハ極メテヨクユラミタル肩ナリ初学ノ士ニ必ミセナラハスヘキ肩ナリ

一南郭云長門ノ侍ハ極メテソマツナリ長門ハ一風アリトラホエ精密ナル学问ハナシスヘテ西京ニモ精密ナル学问ナシ在淳ナル土地ナルユナリ吾社中ノ今ノ才子皆キハメラ精密ニ心ヲ用ルトナリ大内忠太夫カ文干鱗カ法ヲカヲキワメ思ヲクルシメテ悟得タルユヘキハメラ干鱗ニ似タリ

干鱗流ノ文忠大夫ホト季ニ似タルハサシトナリ

一 居修云太史之カ骨ヲ見ルニ軍ノ一キツタリハツタリト云カ精シク見ヘス
司馬遷ハ前漢ニテモ高祖ノ世ヲ去ルノヨホト遠キニキツタリハツタ
リノ一詳ニシラサル也ソレヨリ後ノ史実録ニ日本ノ軍物語ノ如キ一カツテ
見ヘス是ハイカナルニマ文人ハ武事ヲシラス又武功ヲハツマツノト思
ル故ニマキツタリハツタリノ業ヲ見ヘタルハ左傳ノミナリ左丘明ハ其時分
文武イマタワカレヌ内ニ直ニ車ニ乘リテ軍ニモ出ラレタル故カト云ノ面
白キ説也

一 居修云士ニハトクニ武藝ニ精ヲ出サスヘキナリヒロク世ノ人ヲ見ルニ武藝ヲ
好ム人ハ人カラノアシキ人ハスクナシ學者ハ大カタハ人カラ悪シカリキ學問
スル人ノ中ニ偏クツナル人ハ近遠ニテリ才氣アル人ハ放蕩ノ文人無行ト云マウニ
ナル軍法者ハ尺クナレト人カラハ學問シクル人ヨリハ大カタハヨキ者也ト云
一 但来ハ方ヲ愛スルノ甚シキ人ナリ水足平之進カ十六歳ニテ骨脆ヲ赤弱
ニラクレル時ソレヲ見テ悦ルノ甚シ竹溪カユキケレハ水足ノ一ヲ云出シテ
サテモ珍ラシキ者ナリ大事ノ物ナレトテ其文ヲトノ出シ見セラレタルニ
文字ニモ顛倒アリト云シカハ但来色ヲ変メ左様ナル一ヲ云ツ顛倒ナ

ト八年ノ方又ニアルハツノナリソレカ何ノ妨ニナルキ此見識ノ勝レタル
誰カ立及ヘキトテツリカヘシクホメラレタルト也

一金華ハ左傳檀弓莊子通鑑ナト抄眷シタルヲサシガリモチタリ
外ニ肩ハ一巻モナシ常ニ右ノ抄出ノ肩ヲ見テ文ヲカキタリ人ニ對テモ
吾學問ハコレノミヤリト云リ

一宋儒已未肩物ヲ注スルニ是非トスマス料簡ヤリ其中ニ朱子ハカ
ラス未詳又ハ齟疑ナト云フヲエラカレタリ実歟ナルヲマキヤリト春
臺ニケルト肩修カタル又朱子ハ古肩ヲヨリミテ古肩ニモ對シテ下シタリ

二程ナト曾テ古肩ノサハキナシ朱子ノ門人ヨリ古肩ハヨマスメ古肩ヲハミ
コトサツト心得ラレタルニ學問大ニトロヘタリト覺ユト肩修ノ說ナリ

一肩修ノ云春臺ハ博識ナレト古肩ニキクテ精密ナリ東涯ハ古肩ニハ精密
ナラ子氏博識ハ大ニ春臺ニツリト覺ユ未羽ハ博識ナレト後世ノ肩サ
ノミ精シカラスソレニ一尚浩微ニ古肩ヲヒカレタレトモ後世ノ肩ノ說ノ自分
ノ見ト合タルモアマタアレトヒカレスコレ後世ノ肩ヲハサノミ見ラシヌナリ只ムツ
カシクスニニクキ肩ノヨミクタクフスキミテ咸南塘カ肩武備志明律ナト
人ノ中々得ヨマヌノヲトカレタリ

一 春臺ノ文ハトカク王充カ論衡又ハ潜夫論ナト云マウナル體ニテ一テイヲ
理ヲモトリタルニテ西京ノ奏議上書ナトマウナル文ヲヨシト云ヒタリソレ故
文ヲ骨ニ深ク沉思セラル、ソレ多クハ夜六ツ比ヨリ四ツ比マテノ内一篇ヲ骨
テサノミ直サレタル、ソレハ一撃節ノ立ツマウナル面白、ソレハナシ只アリノマニ
人タルマテ、ソレハ常ニ西京ノ文ヲ至極ヨシト云ヒタル故後漢文ノ如クナラレ
タルカト居修エリ又春臺ハ古文辭家ニハ套語ヲ多ク用ルト云ヒトモ
ホナカ文ニハ套語サノミ多カラス

一 南鄭ハモト歌ナリ歌ト西ノ藝ヲ以テ故甲斐又彦吉係ニ仕ラシタリソレ

ヨリ詩ヲ学ヒ文ヲカキテ未_レ弱ニ從ヒタマヘリソレニハ和骨ハヨクヨミタル人也
一 但来ノ方ヘ薮久左エ門細川族ノ臣ユロレタル時初テ相見メソナクノ字向ハカタ
ナシ、ソレナラヌ、ソレ也ト云テ其次ニ足下ハ西海ニソタチタル人ナリ先ツ舟軍ヲハ
如何ニテシタマフヘキト問レタルト也晩年ハ未_レ弱如此軍法スカレタルト
居修聞タリト詔セリ

一 南鄭云子諱ノ春秋世ニ色々今アル譜牒ヲ合セテ考タルモナリ其
中子諱モ殊_レ外イフカシクナリテ打込ラケタルトテ成就セストナリ
一 白石ノ著ル東音譜ハ國字ノ音ヲ譯言シテ音ヲツケタルモノナリ

一 孔安国カ魯經ノ注ハ只説モアリテ安国ニテハアルマシト云イカサマモ
何トマラシ心得カタクキマウヤリト君修モユリ又君修云春臺古魯ノ分ハ
ナニテモ信仰アレトモ家語ナトノ内ニモキツト也。孔門ノ後ニ附會マド
ヲホユル処モアリト思ハルトナリ

一 魯ノ會説スルト云フ中華ニテハ決ラナシト并子叔ハイヘソ君修ノ云レハ中
華ノ人學問ハ多ク産アリテスル日本今ノ學者ハ舌耕ノ産ト云レハ會説
ナトセ子ハナラ又説モアルヤリ又會説ニテ魯ノ見マウ格別精クナルヘシト也
一千鱗カ文ニ如何ヨキ文ナルヘキヤトカクニ面白クナキ文ナリト君修ノ論ナリ

又春臺説テ鱗文ハコヘヌコヤリト君修ノ論ナリ

一 春臺春秋三家異同ハ唯三傳ノ文字異同ヲ按シタルモノ也外ニ春秋
擬釈例ト云モノナリ伐国例文ハ執君例ト題目ヲアケテ注疏ナトラヒ
キタルモノ也ナシ出未カレリ外ニ左傳ノ内ニナトラヒキタル物ナリ春秋曆
ナトヲトリ合セテ一魯ニシタテ春秋經ノ注出未ルツモリナリト見ヘタリ
ト君修語ナリ

一 君修云國初ノ治 東照官ノ御遺訓ヲ見ルニ全ク老子ノ無為ノ道
ニ近シ 台徳 大猷二箇氏ノ大臣ノ義論モ全ク無為ノ道ナリ戦国

一タヒ治リテ太平ナル比ナレハサモアルヘシ 嚴厲ノ時ハ礼制セラルヘキ
時ナルヘキニ學方アル大臣ナリテヲシキコトナリ

一君修云春臺ノ物ヲキムルコトスキ也 今會釈ニモトククチヨト逢時ヨリ
コレハ此位ノ會釈ニスヘキ人ト云格ヲ定メテカル類ナリ 脣ヲ流ルニハ朝起テ
先國子ノ脣ナト見又ハ人ノ見セヲキタル詩文ヲヨミ又授正ノ脣ヲナシ又
會業ノ下ニナトヲシ色ニセラルニハ供ツカルコトナシ 夜ハ必ヨク時ニ子ラレタ
ルト也 其言行キタテヲリツメテ實儀ナルコト比床ノ人物司馬溫公范文正
公ナトニ似タル也 行状脣ニ及ニトカクノ小學ノ嘉言善行ニ入ヘキ人ノマウニ

覺ニルト也

一君修云日本今ノ士ノ行儀カタクノ紀律ナリツハニヤクタルハ昔ヨリ大ニマサレリ
源平ノ時ノ士ハ風流ナルモアレトモ流奔ナトノ類ナク盛衰記太平記ア
トニ見タルタノサナルコトナリ 今世ハ中ニ互様ニハナシコレハ戰國ノ時信玄ナ
トヨリ打ツキ戰國ニテ 神祖ノ所世ニナリテモ人ノ氣遣物ヲ氣ヲツケ
マケシヲトラシトスル所ヨリ行儀カタクナリタルト覺ユサレハ戰國ノ士ヨリ
モ士ノ風俗格別今ハソツハニナリタルト覺ユトナリ
一君修云千鱗カ古文序記ナトニハヨカルヘシ 碑誌傳ノ類古辭ヲカリテ

今事ヲ之ニ不ツリアイナルコトモ骨ヲ何トマラン
実事モウソト覺
ユルナリ然レト碑誌類ハ甚韓退之ニヲトリタルルシ又韓ナトノ碑文
多クハ大臣宮人ノ事跡ナリ千鱗ハ人出ルハスニカ町人百姓ノ碑傳ヲカ
キタルニカ存外面白キ事蹟ナキ歟ト云ヘリ

一 君修云六經ハ何トモキヲ下スヘキ様ナシ己ハ先漢儒専門ノ学ノ如ク六
經ヲ中ニホテヨリルヘシト也コレモ至極ノ權論ナリ

一 紀効新脣ハ祖未ノ跡ニモ骨ナシトハ秋生ニ云ヘリ此骨公俊ヨリ祖未
校合ヲ命セラレタル時トクト見ラレタルト也但シ武備志ニ出タルニテ

咸南塘カ法ノ大意見ユヘシト也

一 明律ヲ讀テ大日本ハ中華ト風俗ノ異ナルヲシテ律ニアル所ノ罪ヲ日
本ノ人ナトハラカス人曾テナシカレハ中華人ハ日本ヨリ見レハナトタクサナルト
覺テ下君脣ノ評ナリ

一 祖未ハ浮腫煩テ死去ナリ春臺カク症ナリ南郭ハ大養生ノヨキ人
ナリト君修云リ

一 春臺ハ殊ノ外ニ享骨ヲタサレタリ享梟玉篇韻會ヲ以テセラレタリ其
内享梟享ヲタツヌルニヨシト云リト君修話ナリ元禎云徒弱ノモタレタ

四部稿の内一冊ヲ見タルニ上ニ肩込アリ正字通ヲ專ニ引レタリ

一 居修云朱子ハ意地ノワルキヲマケノマウニ見レトモ精コクアリツラメ氏今ノ

古学ノ古肩ヲ證ニシテ論スルト云フヲ聞セマシタライカモ心服セラルヘキ也

天理人欲ノ沙汰ニ止ムマシケレイカモ自分氏古肩ヲトリテ論アルヘシ

ムリニカサリツクロヒテ人ヲアサクノ生レツキトハ見ヘスソノ処ハ徠弱ヨク朱子

ニ似ラレタルト也

一 墨子城制ノ処ハ春臺ニモヨメヌメ竹紙ヲシテ置レケルト也居修云管子ハ

戦国ノ人ノ擬作ナルヘキカ尤傳ヨリモ又古キ筈ナルニ尤ナキハ擬作ナル

ヘシト思ハルト也

一 神祖ノ比ノ大臣亦多正信ナト云類其外ノ諸將タチノ中国人ニクラフルニ

西漢ノ初比ノ人物ニ似タリト居修ノ評ナリ

一 人物ヲ論スルニ三代ハ云及ス春秋ノ人物一品ナリ戦国ノ人物一品ナリ西京

ノ人物トハ学問ナキ人モ用ニタツ人多シ東漢ノ少ク学問ガマリテ二十八將

ノ中モ学問アル人アリ又東漢ノ中比ナトハ学者ト用ニタツ人トニ分ニ分

レタルマウナリ六朝ノ人品ヲトリ又学問モムタト四六斗リカキチラシカト詮

肩ナトハ見ス見ルトテモ只四六ノ用ニ立ルノマウニナリ隋唐ヨリ科擧ヲユリ

學問モ人物モ一變セリ宋ハ夙アリテ理窟ヲ云ハリヲリツメタルト云マウナル
ニテ北宋ノ諸君子一休南宋ノ人物ニ又一變セリ元ハ云ニタラス明モ中頃空同
古文ヲ唱ヘ陽明道學ヲ云リ學問又大ニ變セリ又明ノ季ニイロクノ學者
出タリ古今學變如此ト居修ノ論ナリ

一嚴廟ハ岳拱無為ノ居テ下馬將軍ト云レタル酒井雅樂久殿ニ何モカモ
任セラレタリ 憲廟即位テ越後ノ騷動ヲ決斷アリテ雅樂久殿職
ヲ削テ死去ナリ実自殺セラレシト云 上使ヲ以テ尸ヲ檢セント云トキ雅
樂頭殿ノ聲藤堂和泉守殿ト松平紀伊守殿ト云ハリテ病死無疑兩

人カ身上ニカケテ偽アラスト云レシニ六別条ナリコト檢ススミタルト居修ノ
語ナリ此雅樂頭殿甚不允ナル人ナリト云リ

一居修云孔子諸子皆々自分ノ生レシキニテ存奇ヲ一カマヘ一カマヘニテ人ニタマ
ワラスコレニテワサヲ思フマウニセント云志ナリコレニ孔子ノ諸子ノ志ノ同ク
レシ時色ノ一ヲ云出シタリ後世ノ學流トハ大ニ異ナリ

一子式ノ待方ニ及ヘシ但シ諸体不具古樂府ナトハ何モナキ也

一居修云懸以云膝束壁ナト云才子ニ寺城ヨシメタラハ恐ハ朱子ノ門人
黃勉存等ニ及マシワケハ朱子ノ理窟タケキ面ニハフミツメタル一及

カタキ程ナリイカモ祖来ノ学問聖人ノ道ニハ叶ヘケレヒアシク心得タラハ
ハツトシテキワトフマヘ処モナクナル(キコト也)

一南郭已巳春気色快クアラレテ後某カ見廻テ題壁ノ詩ヲ作りタルヲ
和セラレテ詩寒尽還蘇病後身江東花鳥逐青春誰知范翰林
無恙將自生前混同人

一赤穂早六士ノ佐藤土郎左エ門直方評判ハ仇ヲ報スルノヲロセスノ居ル料
簡ナリトクク赤穂彦ノ死毒ヲ食テ死シタマフ如キ類也タレテ相手
スヘキマウナシト云ヘリ又聖賢生シタマハシカタモ有ヘシト云リ長尺純平モ

議論(ア)

一京師ノ神職羽倉春言弟子兩人羽倉藤之進因部三四ノ加茂貞剛
ト称ビシハ則三回ノナリ三四和歌ノ歌古歌ヲ多ク右府門首居ハ殊ニ和学
ニ長シクマヒテ朝廷ノ典故ニ熟シクマヒ三四ヲ愛ヒサセ給フ藤之進モ田安公
ノ俸ヲ賜リシニ後俸ヲメシ放サレシト也

一正平ノカワラトニ和歌ノナリヲ論セシハ莊内ノ人酒井左エ門尉殿ノ家人久未
土郎兵衛ト云人ノ作ナリ

一南郭ノ料簡ハカク治道モ老子ノ流シカルヘシト思ヘルニ或時語リテ

之先王ノ礼ヲツクリ給ヘルモ治平ニテサント思召タルニ也然ルニ今太平ナレバ
モハマ礼樂ニモ及ハヌナレヘシト云レシト君修ノ語ナリ

一 但来ニ字則ノ筭一則ハ但来ノ著スト書付テ額ニミテハリツケテ有リ
春臺ナトノ相見ノ時ハマ如此ナリソレヲ段々ニ字ヲ直ワレテ後ノ數則ハ

一同ニ出来タルト云春臺モ字則ノ筭一則ハ真ノ古文ナルヘシト云レタルナリ
又君修云日瓜ニテ真ノ古文ト云ハ字則ノ筭一又ハ南郭集ノ中ニサシアルヘシ

三 橋見ハ長門侯ノ開東川カラヘ碑ナトノ類真ノ古文ナルヘシ南郭
ノ文モ不孝不王別ニ古文ノ一休面白ク肩ヒテ待ハ海内ニ又比類アル

ハラス子式カ待ノ絶枝ナルモ日本ノ獨歩ト称セシモ又南郭ニ及カタキ

一也文真ノ古文ト云モノ南郭集ニサケアルヘシ近比ニテテ熊耳鶴殿

主階ノ文真ノ古文辞ト云ヘシト君修ノ語ナリ南郭モ士寧子綽ノ二子ハ

予鱗流ノ古文ナリト云レキ

一 詩骨古傳ハ三十四卷アリ西京マテノ骨三十四部ヨリ待骨ヲヒキタル所ヲヌキ出

ヒリ後漢ノ骨ハト云春臺モ是古傳ニ骨ヲ折ラレタル骨トナリ十八卷

已下ハ大幸伴十郎淳享セシトナリ

一 汪伯玉カ文ハトカクハ面白ナシソレヲ元美ナトメツタホメタルハ如何ナルナリ

心得カタクナリト君修後ナリ

一神祖ノ海内ヲ治メ玉ヘル治平百年コレハ三代モマカルヘキナリ夏禹王ノ
御子啓ソレヨリ程ヤク乱レ殷ハ未詳周ハ文武成康トツキタレト
昭王南遷メ帰リ玉ハス日本ノ今ノ治平ハ大ニ夏周ニマサレル体ナリト
思ハルト君修ノ論ナリ又日本ノ云家ノ昔ノ体トカク唐ヲ擬セラレタル物
ニ比叡山ハ御幸アリテ乱ヲ避タマフトマウノ一モ玄宗ノ蜀ヘ幸シ
徳宗ノ奉天ヘ幸シタマフマ子々ウニ覺ユトナリ

一南郭謝安似タル人ナリ喜怒色ニアラハサス人ニカマハス我物スキヲ五ラ

レシ人ナリト子式ノ評ナリ君修云日本近來ノ学者皆酒量アリ仁存
ハ其中下戸ナリ東涯モ上戸ナリ闇存浅見童次郎モ上戸ナリ但來
ハ下戸南郭春臺モ上戸ナリト也

一大高坂清存ハ松浦肥前守殿ノ招シ所ノ臣ナリ此人適從録ヲ著
ス仁存ヲ誹レル存ナリ

一日本ノ古ノ日本紀ナトハ編年ノ体ニモアラヌ史ノ體ナラス実録ノ體ニ面
白キトナシ水戸ノ日本史ハ近頃出未タリコレハ本紀志列傳ヲワケテ先ト也
一明律ニ瑣言水言ナト云注サマヒナリ秋笈ト云モノカナカキノ如クツワシク

解レタル物ニテヲヒタシク丹敷アリト春臺云レタルト也會典ヨメカタキ故
律スミニクキ也ト君修説ナリ

一 仁者心之徳愛之理ト云マウナルコト但永モ仁科モトヤカク云テハリアヒヨリ
合セラルレト何ノ用モナキコトナルヘシ 神祖ノ御遺刑ニ下ヲ治ハ慈悲ト云
言ニテ安民ノ道モ叶ヘシ然レハ經術ト云モメツタニ骨折モ隨ニマカセテ云
ナルヘシト君修ノ論ナリ

一 武家ノ今ノ治ノト云ハ韓非カノコト多シ刑罰ノ刻薄ナルニハアラ子氏
ヒシヤ何テ下ヨリトヤカク云ハセス上ヨリ云出スコトナルハ情サスルト云マウナル

一 韓非子ノ教ニ似ソリ又制度ヲキフトサタメラレヌハ老子ノ道ニ似ル
所モアリト君修ノ論ナリ

一 本多仇波守正信ナトハ陳平張良ナトノユキカタ也本佐録ト云物一卷
アリサシ學問モアリト見ユ但シ人ノ服也又人ナリ酒井雅樂ハ殿忠世ナト
モ正信ト同ク武功ハ何モナキ人ナレト人ノ服シクル人也ソレハ其人ノ器量ヨ
レルナルヘシ又 神祖ノ天下ヲ御トリ成レタルハ唐ノ太祖トノコトナルヘシ
漢高祖後漢光武唐太宗宋ノ藝祖ナト同ク開國ノ君ナレト高祖
光武尤勝レタル人ナリ其中太宗ナトハ容諫ヲ得テ人ナレト真史ニハ

アルマシキ様ナリ後漢光武ナトハ諫ヲコヘ怒リ玉ヘトモ何トヤラシ人呂ヨキ
マウナリ藝祖尤ラトリ玉ヘル歟又太宗ノ英武ハ大ニスクレタレ氏兄ヲ殺シ内
行モスクレタラス 神祖己未ノ列后皆三綱見正シコレ中華ノ天子ノ及
タマハヌナリ

神祖己未キツトシタル制度トモノナシニ奉行シテ天下ヲキリモリスルナリ
マリンマツクシ山宮山查之進ノ評判ハ 尚富家ノ政ハ庄屋シタテ也大庄
屋名主年寄トテ三職ナリト后修ノ話ナリ

一子元論ニ風俗ヲ害スルモノハ豊後フシ常ルリ学者ヲ害スルモノハ世説ノ

風流過タルナリト云フ

- 一 淫心ヲ動カスモノハカナシミノ声ヨリ引動ス物ナリト春臺ノ云ヒシ由后修ノ話
- 一 謝榛カ詩ニ蟋蟀夜寒揚子宅芙蓉秋老習家池ト云詩キリクス
揚子カ宅深切ナラスヲカシキ物ナリ然ルヲ白石変化シ来リテ莖蒿
花嬌西子宅鷓鴣声怨越王城トセラレタル殊ニ面白キナリ桂山義
樹ソレヲヒセテ葡萄酒滿青金帳菡萏花披白板橋トセラレタル又
大ニヲトレリ又桂山ハモト白石ノ詩ヲシタヘリト后修語レリ
- 一 丘傳ノ文ニ春秋ノ例ト云フハアルマシキナリト后修ノ話ナリ

一 君修云今ノ世ノ詩ハ皆蘭亭流ナリ南郭流ニアラス南郭詩ハ字カ
 コリナリニクキニ子式ノ明詩ノ風セ行ハルトナリ又子式ハ是非トモニ鱗
 カ唯徳大寺ノ時マテノ格ヲ一生守トナリツレユ一隨分リツハニ句法ヲ
 タテタルト也又五言律ノ韻アル句ニ上呼吸呼吸呼吸如以弟二字平ノ時弟一字仄
 ナルハ飽ヲナキト子式ヨク覺マテヲラレタリ又唐詩明詩ナトカクハシニ
 クリテ見ラレタルニトクニ二字仄ツキテ平字ナリ南郭ハイクラモ古人ノ詩
 ニ平二字仄字ナルアリトテ自分詩ニモ其通リニ用ラレシトナリ
 一 校尉ト云一紐頭ニ君修用メ南郭ハ副帥シカルハキト云レタリコレハ字

ヲ新タニコシラヘテ名ヲツケタル心ナリ

一 律詩ヲ作ルモノ瀛奎律髓必見ルヘキナリ宋元又ハ晚唐ノ詩ヲ子鱗
 ハ深直シテ出セル多シ若使紅顏偏技冕ト云公道世間唯白髮貴人頭
 上不曾饒ト云三休詩ノ中ニテ晩唐句ヲ添カセルナリ其外多シト子式
 ノ説ナリト君修ノ語也

一 君修云鄭玄ハ文ハ下ナリト云ヘシソレユ一諸注ヲナセルハ却テ奇ナルマウ見ヘ
 タルナラント也

一 但承ハ初名ハ世ト云ノミ例不護園隨事ヲ刊行已後世ト云名ヲ盾ク

秘せし書なり也

一通雅公其マハ八夏夕布ニテ金三十兩ハカリノ價ナリ景ノ所藏ヲ春臺モ

備リヨミテ処々抄出セリ写本世ニ出テ大ニ價ヲ減セリト居修ノ話ナリ

一孔子家語ヲ刊スル時分八十兩入タルト也紫芝園稿刊スルニ金百兩入

用ナリ水羽卿三十兩分リ庄内ヨリコスヘキ筈ナリニ物故セラレテ半分

ハカリ未レリト紫芝園稿ハ五百張ハカリ二十卷アリトナシ詩書古傳ハ

此次ニ刻ストナリ

一徐中行天目集ハ甚スクナシ唐本一冊アリ青蘿館詩集ヨリサシ多

キ位ナリ極テ精選シタルモノ也子式持居ラレテイツレマラン諸侯へ進

シタルトナリ

一千鱗カ少方伯 月詩三首其第一首至テオモシロシ第二番月ノ詩ノ

結句ナト搦筆ニ終若有神大ニ月ノ一ニ深切ナラス句モ面白クナシイ

カナルマラン合矣モユカス作りカ子ラセシ方ナノ作りタラント居修ノ話也

一李王ノ詩ノ比視スルニ格別ノ上ナリ下ナリ李カ廊城樓ニ上ラタル詩ニ

使君盃酒廊城樓倚檻登臨落日愁トツクシヨ王カ使君盃酒一登

樓倚檻蕭條落木愁ト作レリ同シマウナレトモ一登樓ト云ノ字ウ

レシカラズ蕭條ノ字跡、ヨリツイタルマウヤリト也

一 朱子ハ同時ニテ張南軒呂東萊ナト皆朱子ニ屈服セラレタルニ陸象山
ヒトリ服マス鵝湖ノ大極ノ論モ象山ノ云分甚尤ニ覺ニ朱子モ陸象
山ヲ勁敵レ思ハタルマウスヤリト居修ノ語ナリ

一 夏ハ多ク自分ノ材ヲコレホトノコハナスヘキト云フヲ定メ置ラトリカニテ專ソ
レテ修メタリ孔門ノ諸賢皆其通リヤリト覺ユレヨリ己後漢ノ賈誼
ナト不幸ニシテワサヲサスト云ヒ上疏ノ内ニ骨タルホトノコハナスヘキ也韓信カ
高祖ニトキテ天下ヲ定メ武侯天下三分ノコヲ先主ニ云タマヘル其言ノ如ク

ナシタリ武侯モ平生仲廬ノ中ニ打フシテラレタル内今乱世ナレハモシ出タ
ラハ天下ヲ三分ニスヘキト云フコトエ夫シテ居タルナラメシヨリ己後大カタ理
窟ハカリ云テ自分ノ材ノ其口状ノ通シテユヘキホトヲツモラスト見タリ近ク
今ニ在リテ云春臺ナトモトカク經術ヲ治ムヘキト云見識ヲ胸中ニタクハテ
何ヲスルモ皆經術ノ為ニスルヤリト見ヘ南郭ナトモ祖赤ニ學ヒカリタル時
ヨリ古文ト詩ニテ著述不朽ノ名ヲナサトツモリタルト覺ユレ故先見識
ヲ定テコレホトノコヲナシヲホスヘキト云ツモリヲモサレハ學問風ヲ捉ムコト所
早ク見識ヲ定ムヘシ又予鱗ナトモ我ハ古文ノヨメヌ流ヲ作り出スヘシト云又美カ

变化自由ノ文ヲロシト互ニ合セヨシツラメ又セオ子皆李徒ニアラズ然ルニ
同調ノ詩ヲ作ルル皆云合セラレタルト覺其中ニ元美ナト才博ニ過テ少シ見
識定ラヌ又ニ色ニ変シタルマウ也又亦下咽菴門下ノ人モ柳原玄圃白石
兩人ノ志ヲ咽菴問レシニ二人口ヲ合テ天下有用ノ學問ヲナス(キ由ラズタリ)
玄圃ハ律學白石ハ日本ノ典故明ナル學問ヲセラレタリ是等モコレホトクヲ
ナス(キトアラカシメツモリヲ定メテトリカ、ラレタルト覺ユト居修ノ語ナリ)
一杜律邵夢湖ノ注アシキハ勿論ナリ全集ニ集注ト云フアリ和刻ニアリ注ニ
故事ヲ出シ中ニヨク覺ユト居修ノ説ナリ

一長谷川如辰之主馬カ画至テ上ナリ然レトモ少シ格ナカイヲ骨ナリ洞雪ハ
ヨキ画ナリ雪舟已前ノ画ハ皆カラ画ヲカキタリ雪舟ナトハ至テスルトク実
ナル画ナリソレニ筆ケシマウラシキ一曾テナシ今ノ世ニ皆ヨク骨ヲウスキ
画ナリ又ニ秋月ハ雪舟弟子ノ内ニテ至極ノ上ナリ探画画モ探画骨ト骨
タル時ノ画ハ成程ヨシソレヲ過テ老年ノ画ハ唯シマレタル分リテ大ニアシ、今ハ
皆其アシキ処ヲ學フ故イヨク下ナリタリ又狩野家ニ画ノ傳授アリ其傳
授ヲシレハ何ニテモ骨ル、也龍ニハ大ニカ子アヒアルモ也又土佐家ニハ繪ノクノ
コシラへ別ナリ今ノ狩野家ニテモコシラへケレハ出来レトモ大ニ手間入ル也

又唐画ハ筆ヨシソレユヘ画西ナト肩ルヤリ養排ナトハ宗對馬守殿ニタリ
テ朝鮮筆ヲ求テソレヲミタキテ画筆ニヒタリ又今狩野家ニカク竹管
東坡流ナリト云リ

一住吉内記カ繪土佐流ナリ八幡殿ヲ肩タルヲ見ルニ至テウルハシキ甲冑ギン
テキンミシタルト覺ユ上ナリ如辰モ大ニ賞ス又相良侯ノ臣ノ繪師養排
弟子ナリ至テ上ナリ今東都テ追ツク人カツテナシト如辰語レリ

一春臺ハ漢魏叢書ノ三十餘部アリ又永懷堂十三經ヲモメタリト
元鱗ニヘリ

一但末ハ殊ノ外ニ人ノ力ヲホメタツル人ナリ春臺南郭ハ中々人ヲホメスソレニ
弟子ヲトリタツルヲ但末ノ如クニハナキ也又春臺人ノ力アリテ學問ヲスル
ヲホムルハ人ヲ害スルナリトテ一向ニホメラレサリシト居修ノ語ナリ

一居修自家中ノ人仁齋ニアヒタリシ人ノ云レハ仁齋ハ何トナリ一所ニ居リ
タキ人ナリサレ氏太山ノ如クニテ中々ウコカシカタキ人ト思ハレ也

一仁齋ヲ紀州ヨリナ石ニテ召サレケル時辭メユカス中々外ハ奉云ハ仕ラシ
但シ祿多クニヨラスサシノナリ氏國改テ即相從成サレ候ハ參ルヘシ
ト紀州侯ヘ辭ヒラレシト也大志可觀ナリ

一 天門上人春臺モ詩ヲ上ノトホノ但来モ作者ト云レシ由然レモアマリト
午氏云カタシ成島道筑位ナル一キ歎ト居修ノ評ナリ

一 但来ハ庫一ツニ骨物ノ拂アリタルヲ金六十兩ニテカハメリ其中種々ノ骨
物アリテ四部稿千鱗集名山藏タンスイ洞稿天目集李承寧集ナド
明ノ昏夥シクアリシト也家財ヲウリハライテカワレシト也誠豪傑ノシ
ワサナリ

一 矢崎藤五郎ハ古骨ヲクハシク見中ニモ十三經ノ注疏マテモ悉句トウ
ラキリテラキタルト也古郡三次郎ト論語古訓ノ名例ヲ度々往復セリ

三次郎ハ己巳春廿三歳ニテ卒ス才子ナリオシキ一也三次郎ハ与力ナリ居
修墓誌ヲ作シテト語レリ

一 刺子孟篇疑孟 公温 タハヒモナキ論ナルヲ臺翁尤ナリト云レシハ心得カク
シト居修説ナリ

一 春臺ハ笛ノ曲七十斗モ覺ラレタリ至テ細エヨケレハ笛ヲモ自ヒラカレタルト也
又十五歳ノ時八月十五夜ニ家来ノ塵却記ヲ見居タルヲ側ヨリニテ八算ヲ
合算シソレヨリケンイナラシノ其後大本ノ千シカウ記ヲカリテ見テ数学ニ忽
通シクリト語ラレシト居修云リ

一 公穀二傳ハトクトヨマスガアルヘカラスト居修説ナリ并文學モ同説ナリ

一 二十史ハ經濟ニ志アル者ヨマ子ハナラ又物ナルヘシト居修モ云リ但来ニ

一 史ハナレナル物ヨホト十五六史モアリタルト也

一 秋生セ之亟ハ伶利ナル人ナレ氏春臺南郭モ年マヤリシユヘ子トモノ如クニ思

テニ先生ノ方ヘモ云レヌシユヘ學尚スニマストナリ

一 般ノ世ニヒタト都ヲ遷ラレタルハ尤ノナリト説アリ即遷都論ヲ春臺作

ラレタルト也

一 春臺ハ殊ノ外ニ字彙ヲ嗜好ナリテ何モ字彙ニテニサレタリヒタト字彙

ヲ出シテ音ヲタマサレタリ韻字ハ殊ニクワシカリシト也又千鱗集七百張ナ

餘アリ春臺カシテ千鱗カ事業ハ七百張ニスキスト云レタリ

一 白石ノ采覽異言ハ殊ノ外ニヨク脣レタルト春臺大方ナラヌホメラタリト

居脩ノ語ナリ

一 儀礼ハヲユヲ作りテ進退シテミタラハ濟ヘキト南郭ノ説ナリ鄙見ト符

同又周礼ヲ紫芝園ニテ會アリケル時初三十人ニタリ後ニ居修ト今人

ト二人ニナリテ周礼ヲ全部ヲハリト也

一 中村澤藏朝鮮人ニマラシタル五篇ノ中ニ中庸ハ首尾貫キタル脣ニアラシ

仁斎ノ古樂經ノ既簡トウタカハレタルモ有ナリト論アリ君修モ此深藏ノ
中庸ハ全部ヤサル骨トスルハ甚クナル説ナリト

一四大家文範ノ點ヲ大内忠大夫付タルヲ南郭見ラレテ始テ驚テサテ
ヨク千鱗カ文ヲ見タルトホメラレタルト也

一春臺ハ王亮カ論衡ヲ殊ノ外ニ面白シト云レタリ春秋繁露ナトヲモ面
白カリテ讀レタルト也

一國策ヲ春臺ノ方ニ會アリシ時甚クヨミニクキ物ニハ遊玩ニマワリタル
トナレハトカク口ニテ云テミタルカヨキトテ會談ヲメイヌ本文ノ通ヲ今日ノ

口トミテミタルト也ソレニハスム処スマス所キトワレタルトナリ

一春臺同社中ノ詩ヲアツメカシタルハ皆大英ニマカシメリ其後又興觀集
ト云テ同社中ノ詩ヲ少々集メラレタルト也

一元麟之春臺ハ杜林合注ノ元傳ヲ至極ヨク享テ改ラレタリ常ニ筆ヲトリ
テルニヨリテ骨ヲヨマレタルト也

一唐流ノ博識ハ東涯ナリト君修ノ説ナリ

一中華ノ詩人詩集ノ中僧ノ贈答ハ一円ニキリナリ日本ノ詩人殊ノ外多
シイマナルト也ト君修ノ説ナリ

一南郭六理論ナシコレハ十鱗カ流ナルヘシ元美ニハ方々論アリ政蘇ハ叙事ノ文
モ論ナリ人物スキト后修云リ

一中華ノ人ノ詩集ニ題ヲ設テ作りタルハ一首モナシ日本ノ名家ニハ多ク題ヲ設ラレ
リコレハ虚言多シ

一南郭云毛傳又ハ周礼ノ鄭注ヲ刻布スルハ甚ヨカラスト也某ワケハ疏ヲトク
ト見テモシカトスマス疏ヲツケテラカ子ハスマス然ルヲ疏ヲナシテ鄭注ハカ
ニテスムト心得タルハ三礼ヲシカト見スユ也鄭玄ハ元来文章ヲエテユヘツカ
シキト短ク簡ニ肩トリタル注ニハ注ノ奇ナル物トナキタリ注ハカノニテ

三礼カ何トスムキマウナキト也又礼記鄭注ナト礼記ハ本文ノ奥ニアル
ナトラロニ其低出ノ注シヲキタリカマウナルヲナレハ中ハスマナリノ儀礼ハ
古人モヨメニクキトシタリコレハ業ニハスマナリ是ハ階ナトナシノ本形ヲコシス
テツホナトノマウナルモノヲ樽ナトニシテシマウキノ駒ヲ人形ニシテ揖讓サセ
スル時ハ將棊ノ駒ヲ伏セナトシタラハ儀礼ヲカミクダキスマシタルト云ヘキ
ヤリ三礼ヲトクトスマナリ子ハ學問トハ云カダキト也

一南郭云博物典彙ハ殊ノ外ニ重宝ニ歴代ノ制度ノ沿革ヲ出セリヲシ
ツラスキテ見セタル物也東洋ノ制度通コレニ似タリ

一東涯ハ學問ハ仁斎ニ倍セリ名物六帖ナト只ヌキ屑トノ心得ヘカラス譯ヲツケタル処殊ノ外ニ心ヲ用クル物ナリ中々及カタキアツキ學問ナリ制度通ナト隨久文献通考杜氏通典明會典ナトヲ能ヨミテトクト吞込テ仕タル物ナリ大抵ニ屑ヲ精密ニ見タル分リニテハナラス也ト南郭語リタマヒキ

一南郭云左傳ノ文妙ナルヲ杜注ノトリマハシ至極ヨシ但ニセシテ是ラヌマウナルヲモアリ林堯叟ハ日本ノ句解ノ類ナリ若キ時林堯叟モ讀メルニ林カ句意ヲヨシト思シ後トクト孰一覽スルニ大ニ林注ノ句アリ、其子細ハ杜注ハ文勢ヲ吞込テ注マリ林ハ文勢文法ヲ一向シラスシテ注シタルニハアシキトナリ

一水戸大日本史新田義興傳ヲ守山茂ヨリ南郭ニカセラレシユヘ見ラレタルト語ナリ太平記ヲスクニ真ノ文字ニ直シタルホトノ文ニテ中々ヨキ文ニテハナシ義例ハ義公ノ定サセタマフトナリ

一白石ハ詩ガリノマウニ人ハ之氏文章モヨシ夷志屑ニクキヲヲ殊外ニヨク屑トツタルモノ也ト南郭云レケル但シ白石ハ文雅ニテヲスヘキト思ハルホト尤ナレ氏文雅ニ過レハアシキカ其ワケハ物ノ文事ナルハ實ニツイテ論スルカ至極ヨキナリ實ニツイテ之ハ文雅ナルハ實ノウスクナルモノ故趙武靈ノ胡服ノ方カ強キヲテ實ナリ六朝ニテモ南朝ハ文雅スキタルニ浮華ニナリテヨ

三何トマラシ北朝ハ人品モヨク見ルヤリト南郭ノ説ナリ

一南郭云玉元美文ハ古文辞ナレトモ実ハ韓ヲ学テ韓ノ伎倆ヲ得タル物
ナリ諸體ヲ不残骨タル処自由自在妙ヲ得タリ然トモ専門ニヲサメタル
文ニアラサル之其年亦ヨリハ一段ツラキテ見ル也七卷ヲ骨タル時サテモヨ
シト見トモ枚乘ヨリハラトシテ諸文皆其通り也

一南郭云六朝ノ文昭明ノ選マウ至極ノ上キナリ外ノ骨ニ文選ニヲサメヌカ有
ルヲ見ルニ以テノ外ニラトシテ監識ゴトニ勝シタルモノナリ又六朝ノ未ホト詩ハ
アシキ也スヘテ詩ハ氣運ニカル也文章分リ氣運ニカルニ非ス其ワケハ僅

魏六朝ト段々ナリ成テアシクナリケルヲ唐ニ大ニ與シメリ其代宋元トナ
トリタルヲ明ニテヨコセリ東都ノ待盛ナルモ與王ノ氣象アルニ也平安ニ詩
ハナキナリト也コレテ氣運ニカル処ヲシルヘシト也

一莊子ノ注ナリ南郭云郭象ハ中々コレテ句コトニ解スルト云マウナル下等ノ心ニ
アラヌマナリ莊子ヲツカマヘテ清言スル心ナリソレユヘ郭象注ニテ莊子ヲスマム
ト云ウナルコトナラヌ也又莊子ハワマクモノユヘ色々ノコト骨ナリ礼骨同文
ト云フアリシカレハ列國ニ文不同國アルト見ヘソリソレヲワマクニマカセテ文ノ
不同ニテ骨タルモノユヘ外ノ骨ニテヒキ合セテ解スルコトアラヌナリ

一南郭之科擧ヲコリテ後ノ學問唯其場ノマラ合スル爲ハカリニシコムユハ誠ニ
文ヲ骨ト云ウナルコトヲシ官人ニナリテ女ニ律ヲヨミ覺テカレハモヤ學問
ト云フハイラヌ也ツレユ及第シタルトテ中々文ヲヨク骨コナスコトヲ決テナシ
見文之月沙汰ノカキリナル物ナリ

一國語ト左傳ト事ノ異同アルヲ人々不審スレトコレハ丘明ヲシラヌ故ナリ春秋ニ
ノモタル処ハ首ヨリ尾マテノコラス丘明カ潤色ナリ一年筆ニナリタルユハ文体
全ク同シキナリ國語ニ諸國ノコトヲ別骨ニシテ左傳ノ羽翼ニシタル骨ユハ
午マハ臧メ置タル骨ナリツレユ左傳ト事跡ノクヒナクイタルコトモアルヲ其

マ考ノ爲ニタルナリツレユハ文体一様ナラス丘明カ筆ニテカサリタルニテハナシ
諸方ノ別骨ヲアツメヲキタルト見テヨキナリト南郭ニシタリ

一七子ノ詩千鱗ハ論ヤス徐ヨシ吳モヨシ體格ノタリカニナキハ爾ナリ宗子ハ
成ホト汗血馬ナリカニマカセテ作レルユハ午本ニハナラス梁ハヲトヒタル氏ガシ
ヨハキ侍ナリ明ナト詩ノ盛ナル世モスクナケレ氏七子ヲ尽タルユハ詩ハムツカシキコトヲ
シルハシ李王カ心易キ許殿卿ナトカ詩ヲシレハ以テノ外ニヨクナリ但徃祖卿
カ古賦ヨシ古樂府ナト甚ヨキ也王元美カカセテツクレルユハ七言律ハ瀛
奎律體ノマウナル詩カ出来タルナリ午本ニハナラストナリ南郭ノ倫也

一南郭云千鱗カ五律上平ナレトモアリニリツハ過タルマウ也何大復五律一目タテ
オトリノリト覺リ

一南郭云千鱗カ歌行コレモアアリツ合作りタルユヘシヲ雅ニスヘシ五絶ナト
モ其通りナリ

一五言古ト七律トイツシカムツカシキト云カタシキ千鱗カ五言ハ古詩十九首ヲマヘ
ミテ其格ヲハツサヌマウニシタルユヘナルホト臨摹ナトモ云キヤリサテ古詩十九
首ノ詞ヲステ、外ノ詞ヲ作りタテ、古詩十九首ノ如ク作りナサントスルコトイカ
ナル上平モ叶カタシ古詩十九首ノ詞ノ外ノ詞ニトリテ随分フルク作りテミテ

モ建安ヨリ上ハ出ヌ也コノ所ヲヨク合点スヘシ又文選ナル晋人ノ格調大ニ
下レリト南郭ノ論也

一文選章句ハ小トリマニニシタリ李善注ヲキリチンタリ李善注ハ句ノアセヘ
注ヲ入タルユヘ文勢カ見ヘストテ一段々ニ文勢ヲミセヲキテ注小キリメ入タリ五臣
注ハ向ニラキモナキアシキ注ナリト南郭云レケル

一春秋ニ例ト云フハナキハツ也但来ノ説ノ如ク通鑑ニ目錄アルカ如キト云レシヤク
尤ナリ例ヲタテ引合セバヒモスヘケレト云レハ孔子ノ本意ニ非スト南郭云レケリ
一南郭云今ノ朱學者ハ中々朱子ノ集注ノ文義ズマスアレシテ朱学ヲシクルト云

ハラカシキ也朱子魯ノ解マウ字ヲタシテウチヤクナルシクサマトトトリテ
本ス趣ノ外ナルノ主意ヲ一ツ自分ニ立テエタキ時ハ自分ノ説ヲニス外ノ謝氏
ナトノ説ニ書ワケテ人ニユツリテヲキタリオウチヤクノ方ナリサテ又
大學中庸ナトヲ注スレトシシクツシテ置テサテ之度ノハ或問ニ云人ナリ
カレハ朱学ヲスルホトナレハ或問ヲ併テトクト見サレハ本ノ朱学ニテナシ山崎
闇斎ハ日本ノ朱学ニテハヨク吞込タリ

一南郭云今ノ学者ハ皆徒弱ニ開眼セラレテ目アキタリ文化ハ盛ナル
ナリ三體詩ヲケツコウ至極ト覺テヒサシク未ノタル処ヲ徒弱ニテ夜カ

アケタリ然レハ文章ハイマ夕日中ハ至ルマシキカ近頃諸侯方ニモナクハ詩ノ
ナル人三十余令リ此十年已前守山侯ノ梅ヲウケテ諸侯ノ詩ヲアツメテ
シニ十人トナシ又立花左近將監殿ノ公族大夫某ノ女玉蘭ト云シ孺人ノ詩
トヲ見セラレタル禎ヨムニ 歌行律体悉具リ楷法モコトナル也

一李千鱗文ハ極メテヨメクキ物ナリ然トモワケタリ文法ヲトクト吞込ハヨメル
也左傳ナトノ文字ヲハ出サスメ文ノ轉換シテユク処ヲニセタルモノ也李カ古書ヲ
一ト出シタル所ハ何ノイモナシ石ノ通文勢ヲ学ヒタル物ナリト云ヘ古文ヲ腹
中ニコラス入レテラカ子ハ李ノ文ハ読メヌ也サテ明ノ典故ニ官名ト古名ヲトリ

出ノカキタルユヘ又読ニクシト南郭ニレケル

一朝鮮人ニ種ノ風習アリテ詩モ文モサシナリ就中去年未聘ノ韓人イヨ
クワルシ居修相ヲヒモ足ラスト云ヘノ南郭モ予カ社中ニ合テ一人モ出合テ云
レケル又南郭ノ語ラシニ兩森芳洲岡ニ朝鮮ハ日本ノ九州ホトアリト云
三韓ヲ合セシ時ノ人数ニ百万ト云リ奥州仙臺彦ノ人数百万ホトアリ然レ
州ホトモナシト見其上ニ至極ノ貪之ノ國ナリ唯ヤシ日本ヨリ文アル国ニシ
テ以テラシツクルハ是非モナキナリ也豊王ヨリ己未ハ猶ハ所庸同前ナリナルニ
改メテ学問ナキユヘ朝鮮ニケルハ苦々シキナリ也サテ日本ノ富タルヲ自マシ

心ニテサマシノ物ヲ見スルトテ馳走ニナリテウママウユヘ今ハ日本ニシタテニテ見
ルナリ文盲ノ是非ナキナリ古キ國史ヲ見ルニ朝鮮ノ日本ニ後タル体トク
日本ヲウシロメテニトリタルノ覺ナル也ト南郭ノ説ナリ

一元人博物家アリ明ニモ大ニ博物家アリ楊升菴陳晦甫焦弱庵李本
寧謝肇淩ナト皆物スキヤヒ博物家ナリ明季ノ方以智ナトモ其通ノ
ヤリ詩文ハ拙クテナラヌ博物家ニテリタル也色々ノ古書ノ中ヨリ見出シ
テ自マシニスル也モトキトトリタルナリ也但シ予中年ヲテハ尙ヲヨム度ニ珍シキ
ナリヲ見出シ古来ノ博物家ノシラヌナリ也ト思ヒニ後通雅ヲ見ハ早出ナリ

シカレハ博物家ト云モタマスクナルノハアラス然トモ先ハ下段ノト覺ユクニ面
白キ一ツ云出シタリ氏ツレハタレモアリマシテホムルノモ非ス又胡元瑞筆叢
詩藪ヨリガシタシ元瑞モ博物家ナリ揚升菴カ見出シ置クルノ訛正シタ
レハ二百張ハカリモアリノ畢竟無益ノ筆博ヲ云ハカリノナリ筆叢ニ多ク古
書ノノヲ沙汰ス竹書紀年ナトヨキモノト云説ヲセラキタルモ也ト南郭後ノ
一烈祖成蹟ト云肩安澹泊ノ著述ニテ守山侯序ヲ肩キタマフト也南郭
守山侯ニ代リテ肩タマイケル其後 神祖遺事ヲ澹泊肩シタリト見タ
中々史筆ヲトルモトノ文章ニダラヌト南郭語ラレケル

一 後世ノ肩ニスヌノナトアルヲ杜氏通典文献通考又通鑑ノ三者注ナトニ
テヒキアハセヨク考レハスナリ古肩ニハ引合シテシル肩スクナキ故古肩ハトク
マスカチノナリ鄭公寤生ノナシ産氏云サカ子氏之色々云トモ皆推量
ノ説ニテ外ニ寤生ト云ノナシ何トヲチツカスヘキマウナシトニカクニ何トカクルシメル
ニ其子ヲニクミタルナント推量シテ極メ置ヨリ外ナシト南郭ノ説ナリ
一 字肩ト云モノ蒼頡カ作テヲキテ字訓ヲ許慎ヘ傳授シタルニテモナシ
古肩・アヒモツアルヲ引合セテ訓ヲワケタリソレヲ字字家ト云モノカ愚ナ
ルモシテ 貞畫ヲヨク合貞スレハ何肩モヨメルト云ハタカシキナリ中華ニモ

字学家ハ愚ナル物ナリ 試ニ論スルニ二三トヨリ 読安キ字ナシ然ニ老子
ニ生ニ生ニト云フサテクスマスコシテ合息スヘシ一享ノ訓ヲヨク知リタリ
文トモノハ字ヲ童子アケ詰合セラ義ヲナス処中ニムツカシキユヘメカヌルコト
也ト南郭ノ悦ナリ

一南郭ニ能澤ヲ芥ノ脊ヲヨミ改ヲトル地ヲフミタル人ニ後論格別ナリ其位
ヲフマスメロニマカセテ云時ハ之レヌフハヤケレ氏經濟ニカケテハサモナヌフ也老子ノ
知者不言ト云レハ尤ヤリト云(中華モ經濟ヲ云人皆其位ヲフミタルニアラ
ス唯後世ニカヤウナルコトヲシラタリト云フ人ニ見シニ爲分リ也然ハ畢竟學

問自マシタテノコトナリ其上經濟ヲツヨク云ヘハ朝廷ヲ玩フ心モアリタルニ予ハ決
テ經濟ノコトヲ云スト南郭ノ論ナリ

一東匯ノ學問ノ如キアツキハ決テ此已後モアルハカラスト南郭クカヘシテ賞也
ラレケル

一志村三左門モ博識ナリ晋肩ニ墜ラツル時杜預傳ノ人排トシテ不知
トテ考(ヒレハ通雅ニアリト三左門ニヘリ通雅ハ松平美濃守殿ニアリシト
ナリ南郭其後韻會ヲ見タリ時人排ノタラナルコト出タリキ近所ニアル
コトヲ見出サリキサレハアタリ博ニ過テ肩ヲモ見ルヘカラスマウニ思ハルト南

郭浩ラレタリ

一 忍海上人即海雲上人ノ學問モヨホトアリ詩モアリ文ハ改位ノリナルト
南郭浩ラレキ

一 石仲緑ハ若氣一通ノリノ故近頃人ニ色、願ケルニ交ヲ絶テラキケルヲ止シ
テ相見ス人カラモ今ハ直ノタルトナリ板美仲ハ今ニ無頼直ラス其上ニトカク人
ヲタフラス一ヲスルニ何トモスヘキマウナシツレニ社中ハ子出シ置タリヲシムヘキ
オナリト南郭ナケキ玉フスヘテ洛誠ノ間ノ學問大ニ輕率浮過ナル也中ニモ
大坂見シ大坂テハ予徒翁門人予ハ南郭門人ナト云タテシテロラキ、ラレシ

ノ學問モナキ人多シ學問ノ浮過ナル上ニ無頼ヲ加味シタリト南郭モ歎息シ玉ヘ
一 トカク人ヲヒキタテテ學問ヲサスルト云マツナル先生モアリシハ衆生ヲ濟度スル
如來ノ如シ予ハヒキヨミ思業ニ方ヲ月スルヲモ得セスカレマニ置テ也ト南郭ヲ

一 南郭云國策ハヨニクキ肩ナレ氏游悅ノキアヒイツモ同シダマシカト心得レハ
讀レテリ又ツトシ吐ミシカケテ人ヲタラスト心得レハ谷矣ニキ易シトナリ

一 春秋ノ時方ノ卿大夫ト云モノ今ノ大名ノ家老ト云者ヨノ比(見レ)ハ昔ノ家老ハ
殊ノ外ニ重キモノ也ツレニ一執君テモ國人モトヤカクナシエマシタルト覺ユ又シテ考
見レニ中華ニハ聖人天子ニ宗廟ト云モノヲアツマカケテ滿族ハ天子ト云モノノ

イタカセ配分ヲサテ卿ト云モノヲミタル処人柄甚兄キ國ト覺之レニ礼乐
ヲ聖人治メタヘリ日本礼樂ナシニ治マルヲ見レハ華人ヨリハ人柄ヨキナリト
南郭ノ説ナリ

一先王礼樂ヲ國ヲ維持スルト云ハ左傳ニ見ヘリ子産カ小國ノ家老ニテ大國
ニタテツキ辭命ニテセリアヒタル心服シタルヲ見レハコレ礼樂維持ノ力ナリ南郭説
一堀正延堀七王元美カ文ニ其マナリ堀景山南湖堀文ヨクカケリ光ヲツキ
タル学者ナリ平安ハ東涯ト此三人マテナリ平安近処ニ皆淳道ニテ学問
リナキニナキユヘヨキ人出ストクニ返シ南郭論セラレケル

一護國隨筆ハ二華ニ筆モ段々クツモリ也シカ出シテマミスト南郭ノ説ケル
一徠羽門下ニ古文辭ヲ肩トテ古骨ノ詞ヲキリツキニカ子カケテ古文辭ナリト
云モアリキソレハイマタ至ラヌカヤリ文勢ノ轉換スル処六カシキナリ切付分リカ古
文辭ニハアラヌキリツキテ轉換スル処古ノ文ニ似サレハ真ノ古文辭ニハアラヌコ
コノ処大事ノナリ近頃士寧ナリ古文辭ニノ処ニ氣ヲ付ラルト南郭ノ説ナリ
一南郭云汪道昆ハ初テ古文ニ入ル時左傳ヲ學フノ十年入リヲ得スニテ文選ヲ
學テ古文ニ入ルト自分ニ肩置タリ今チヨト別テハ合矣ユカス汪カ文ト文選
ノ四六ノ對偶ノ文トハ大チカヒ也トト見レハ合矣ユクナリ六朝ノ文ハ全クキ

リツキノ文アリソコノキリツキノ処ヲ合点メ文ノスカタハ變化メ作リタルにキリツキハ六朝ト同シユヘキリツキヨリ文タルト云リ南郭ノ説ナリ

一千鱗ハ人柄ノ高キ人ヲ最初古文ヲ骨出シタル時大テイノ人ヲ骨ツケタルト見ユツレユヘ胡元瑞ナトモ李ヲハ握髮吐哺風スツナシナト云テコナシロク云リ
同時代ノ人皆多ク丸マウミタリ玉元美ハ人カタメハ誰ニテモ文ヲ骨テマリタリト見ユツレユヘアノ如クサマシク夥シク文カ出ルタルハシト南郭ノ後ナリ
一日本ノ昔ノ詩経國懷風等ノ中ヨリユラミ出サシトスルトモロクナル詩ナシ外尚アリシマナリ詩ハ近末五十年ニ出ルタリト南郭ノ説ナリ



